

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2007. 5. 17

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

神戸学院大学生、震災研究すすむ

神戸学院大学人文学部水本ゼミの新ゼミ生（3回生）が引き続き震災資料室の資料整理と研究を行うために、当資料室を訪れた。代表の清水より設立の経緯など詳しい説明を受け、熱心にメモを取っていた。

ゼミナールでは、これまでの教室の中での教壇と黒板と机・椅子での授業から飛躍して、積極的に実社会と係わるなかでのゼミ活動を目指している。そして来年1月17日には「避難所マニュアル」概要を公表する予定だ。

全体で行う「震災資料を残す会」の活動は

- ・小・中学校などの避難所施設になった学校の震災資料調査
- ・長田区などで避難所運営担当にあたった神戸市職員への聞き取り調査

である。またいくつかのプロジェクトチームを構成して、グループ毎での活動も行っていく。

- ・学校施設震災資料調査班
- ・鷹取中学校資料調査班

* 神戸学院大・水本ゼミの活動 *

水本ゼミは昨年秋に、阪神淡路大震災―「寅さん長田に帰る」を人・街・ながた震災資料室と共に催し、多くの方々に観ていただいた。また山田洋次監督をお招きしてトークショウを行い「男はつらいよ―寅次郎紅の花」の長田ロケについて学生の視点から学びとったところだ。

- ・神戸市職員聞き取り資料調査班
- ・避難所関係論文資料調査班
- ・人・街・ながた震災資料室資料調査班

震災を体験していない学生たちが、「阪神淡路大震災」の記録を通して、地域とふれあい、震災の記憶を伝えるだけでなくこれからのことも考えている。書類だけの研究だけでなく、息の長い心の通った震災研究を、これからも進めていく。



◇5. 11戦跡ウォークに参加

1945年、神戸は幾度となく米軍のB29によって爆撃され、中でも3/17、5/11、6/5の空襲は酷かった。5/11川西航空機甲南製作所（現・新明和工業）が標的となった。工場には今でも機銃掃射の跡が残っており当時のすごさがうかがえる。

当日のコースは、大日神社の鳥居と玉垣→朱鳥居→本庄基地慰霊碑→高橋川→神戸大学海事科学部→新明和工業。

◇ 交流

4月12日に来室されたオードレ・フッシュェさん（仏国立映画学校生）から「多くのことを学ぶことができ、訪問がたいへんためになった」との礼状が届けられました。

穴水町被災者支援行動報告

実施日時：平成19年5月11日（金）

緊張のなか、穴水町の被災地を訪れました。ところが仮設住宅を訪問するとほとんどの方がお留守で、どうしたことかと思っておりますと、お仕事や、被災した自宅を片付たり、農作業をされているとのことでした。5軒のお宅を訪問させていただき、おみやげを手渡し、お話を伺いました。震災時の様子や、健康状態などを聞き、看護師さんが血圧をはかりました。ご高齢の方でも大変お元気で、さすがに震災直後はみなさん体調を悪くされたようですが、いまでは「地震はくやしいが、がんばって家を再建する」という思いをエネルギーにされているようでした。みなさん明るい方たちばかりでしたが、震災を経験した者として、心中察するに余りあるものがありました。滞在時間が限られていたので、挨拶もそこそこに被災地を後にしましたが、あのようによい方たちが、どうしてこんなひどい目に遭わなくてはならないのかと怒りがこみ上げてきました。神戸も震災の時に、いろいろな所のいろいろな人達に元気をもらいました。私たちの活動で、被災された方々がすこしでも元気になってくれればと思います。穴水町の復興がひと段落すれば、是非もう一度訪問したいと思います。

がんばろう！能登

長田区役所まちづくり推進部 藤原 美紀

長田区役所まちづくり推進部 北野 智

穴水町の状況

①穴水町

人口 約11,000人 役場職員 約120名

②被害の状況

能登鉄道穴水駅前、商店街（大町）を中心に被害が集中しています。

- ・ 全壊194戸、半壊155戸、一部損壊581戸
(4月23日現在)

- ・ けが人39人

- ・ 避難所への避難者 最大時137人

(金沢の親類宅へ避難した人、車で寝泊りしていた人が多く避難所に避難した人は少ない)

③仮設住宅の場所

- ・ 石川県穴水町リー105番地

④仮設住宅の入居状況

- ・ 仮設住宅は45戸で、4月26日に入居説明会を行い、4月30日に鍵渡しが行われ、入居は5月1日から5月6日にかけて順次行われています。仮設住宅には、穴水駅前、商店街の被災者を中心に、また、高齢者の方が多く入居しています。

